

屋外広告物ガイドライン（素案）

1. 背景と目的

本市では、屋外広告物について、屋外広告物条例に基づく、許可制度により面積制限を柱とした景観誘導を行ってきました。

しかし、上質な都市景観を創出するためには、量的な規制に加え屋外広告物のデザインや色使い等の、「質」についても配慮が必要です。全国的にも、屋外広告物のデジタルサイネージ・プロジェクションマッピング等の新たな媒体※の出現や、維持管理が適切にされていない屋外広告物による事故等の発生が問題となっており、関心が高まっています。

そこで、屋外広告物に関わる広告主や広告業者、それを視認する市民等が協働して良好な屋外広告物のある景観の形成を図るため地域特性に配慮した景観配慮の具体的な方法を示した屋外広告物ガイドラインを策定する。

2. ガイドライン策定体制

市民1000人を対象としたアンケートを実施し、景観審議会専門委員会に広告業協会・広告主協会・広告事業者を迎え、検討を行ってきた。今後は、さらにパブリックコメントや事業者聞き取りを通して広く意見をもらい進めていく。

3. 基本方針

○課題

✓風致の維持や、地域に応じた良好な景観の創出に大きな影響を及ぼしている

熊本市の代表的な景観を保全し、地域ごとに個性のある景観を創出する

✓内容が伝わりにくい

見せたい人に、内容が伝わりやすく

✓老朽化し危険である

適切な設計と維持管理で安心で安全を確保

○基本方針

熊本のまちとつながる

地域別の景観形成方針・基準

思いをつなげる 暮らしとつながる

デザイン方針

安全方針



歴史的な町並みに調和する屋外広告物



賑わいに寄与する屋外広告物

4. デザイン共通基準の一例

○周囲との調和について

設置位置や表示板の大きさなどを揃え、または共柱化し乱立を防ぎましょう。



○屋外広告物の構成要素について

色数を抑え、最も伝えたい情報が見えやすい配色にする。



5. 地域別の景観形成方針・基準の一例

○「場」に応じた景観づくり



眺望景観づくり

- ・熊本城天守閣から望む
- ・熊本城を望む
- ・水前寺成趣園から望む
- ・江江湖から望む



沿道景観づくり

- ・市電沿い
- ・幹線道路沿い
- ・交差点



地域景観づくり

- ・商店街
- ・公園/緑地
- ・駅周辺
- ・山・農用地
- ・住宅街
- ・歴史的町並み（地域拠点含む）

6. 市民協働の景観づくり・景観づくり制度

①地域の個性を顕在化させる取組

熊本市屋外広告物条例に基づく制度（広告物活用地区、景観保全型広告整備地区、広告物協定地区）、その他任意協定、景観アドバイザー制度、顕彰制度 等

②地域や民間活力を活用した誘導の制度

エリアマネジメント活動のための屋外広告物利用、官民連携した屋外広告物条例の周知、住民・地権者と合同パトロール、屋外広告物簡易除却協力員制度 等

7. 今後のスケジュール

今後、事業者聞き取りやパブリックコメントを実施し、7月頃の策定を目指します。

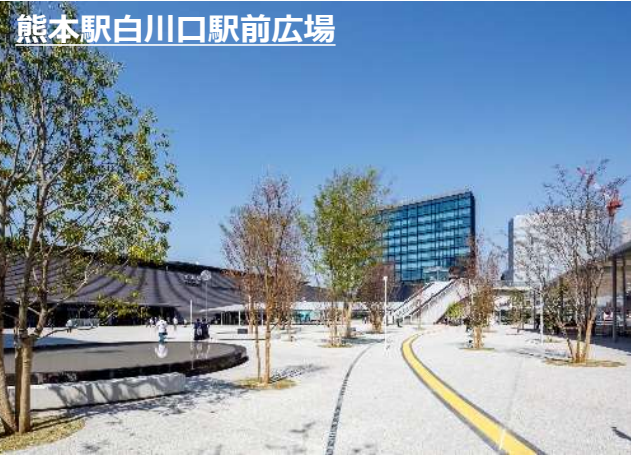
令和3年度			令和4年度	
7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7月
骨子案作成		素案作成	パブリックコメント	策定
		アンケートの実施		
景観審議会報告		事業者ヒアリング	景観審議会報告	
		議会報告 景観審		

都市デザインの推進について

熊本県 くもと景観賞受賞について

※熊本景観賞とは熊本県では昭和63年より、県土の良好な景観形成や緑化等の地域づくりに大きく貢献している人々を広く顕彰することによって、県民の景観形成意識を高め、地域の個性を活かした景観の保全と創出を図るため、毎年「くもと景観賞」を実施している。

「熊本駅白川口駅前広場」（市街地整備課所管）の他、本市と景観協議を実施してまいりました「大劇会館」（大洋企業株式会社）が、熊本景観賞の「地域景観賞」を受賞しました。（R4.2.17受賞式）



熊本駅白川口駅前広場



官民で展開される様々な事業のデザインの一貫性や官民連携を図るため会議を設置し、多岐にわたる事項に対し、産官学が一体となり丁寧に検討が積み重ねられた点が評価された。（講評抜粋）



大劇会館 外壁改修

地震後の復旧事業にあたり、1969年に近代建築の巨匠アントニン・レーモンドが設計した有田焼タイルを張った幾何学模様のファサードを当時の姿に復元した点が評価された。（講評抜粋）

夜間景観実証実験（ライトスケープキャラバン第5弾）@子飼商店街の実施について

□2月5日(土)に、子飼商店街主催で子飼日夜祭が初開催されました。商店街による提灯や足元照明の明かりと連携して、本市は軒先や足元に向けたスポット照明を支援することで、子飼商店街特有の魅力を引き出す夜間演出を行いました。来年度以降も、本実証実験等を通じて市内各地の夜間景観の機運を高めてまいります。



現況

